

## 固定資産税・都市計画税の軽減措置の継続を求める意見書

中小企業者・小規模事業者は、日本経済の根幹であり、地域経済と地域の雇用を支える重要な役割を担っております。しかしながら、これら中小企業者等を取りまく環境は、これまでの長期的な景気の低迷に加え、企業活動のグローバル化、雇用維持や人材の確保・育成への対応など多様な経営課題に直面し、厳しい状況にあります。

このような中、東京都が実施している固定資産税・都市計画税の軽減措置は、厳しい経営環境にある中小企業者等にとって、事業の継続や経営の健全化への大きな支えとなっています。

仮に東京都が、これらの軽減措置を廃止した場合、中小企業者等に与える経済的・心理的負担は極めて大きく、地域社会に与える影響が強く危惧されます。

よって、台東区議会は、東京都に対し、中小企業者等の経営基盤の支援強化を図るため、下記の事項を実現されるよう強く要望いたします。

- 1 小規模住宅用地に対する都市計画税の軽減措置を、平成26年度以降も継続すること。
- 2 小規模非住宅用地に対する固定資産税・都市計画税の減免措置を、平成26年度以降も継続すること。
- 3 商業地等における固定資産税・都市計画税について、負担水準の上限を65%に引き下げる軽減措置を、平成26年度以降も継続すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出いたします。

平成25年12月17日

台東区議会議長 和 泉 浩 司

東京都知事 あて